

附属札幌中学校「学校だより」

藤 房

北海道教育大学
附属札幌中学校

令和3年3月15日発行

卒業特別号

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。義務教育を修了し、この学び舎を巣立つこの佳き日に感慨もひとしおなのではないでしょうか。皆さんが手にする最後の学校だよりとなる本号では、第73期生の門出を祝して、萬谷隆一校長先生の式辞を紹介いたします。

第73回 卒業証書授与式 式辞

学校長 萬谷 隆一

115名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

そして、保護者の皆様、お子様のご卒業、まことにおめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

卒業する君たちは、3年間の附属中学校での生活を振り返り、忘れられない思い出の数々に、深い感慨を覚えている人も多いかと思います。まだ小学生気分が抜けない1年生から、2年生、3年生を経て、皆さんは自分の成長を実感していることでしょう。

この1年間、73期の君たちは、3年生になるや否や、春には新型コロナウイルス感染症のために休校となり、ほんとうに翻弄された1年でした。

とりわけ今年度の修学旅行は、沖縄へ昨年5月に行く予定でしたが、当面秋に延期されました。しかし、またしても再流行のために、さらに延期とせざるを得なくなりました。最後にぎりぎりの工夫を経て設定されたのが3月7・8・9日のトマム・阿寒への道内修学旅行でした。

第73期生による修学旅行は、数々のレクレーションと話し合いの場、先生方への感謝を伝える場面もあり、これほどに皆の心が響きあう機会になろうとは想像していませんでした。おそらく、卒業式間際まで延期され、行けるかどうかかわからない心配な状態で、やっと行くことができた旅行であったからこそ、そして卒業直前という時期だからこそ、最後の思い出を残したいという思いが表れた、感謝とまごころに満ちた輝きの瞬間になったのだと思います。

修学旅行は、常にコロナの感染状況によって、何度も延期され、この1年ずっと、このまま行けないかもしれないという心配や不安に駆られてきた人も多かったかと思います。しかし、修学旅行に行きたいという3年生全員の思いと努力、なにがなんでも行かせてあげたいという3学年教員の数々の工夫と努力が、見事に実った旅でした。

ここで強調したいのは、修学旅行に行けるかどうかという瀬戸際で、不安や心配に負けることなく、出発時期や行く先など、可能性のあるオプションについてぎりぎりまで、前向きに「工夫」を考え続けたということの大切さです。ここで皆さんの将来に向けて送りたい言葉は、「心配するな、工夫せよ」という言葉です。

この言葉は、南国の観光地宮崎県で、「宮崎県観光の父」と呼ばれている岩切章太郎の言葉です。岩切章太郎は大正15年に宮崎交通の前身となるバス会社を立ち上げ、日本で初めてバスガイドを乗せたり、修学旅行ではやってくる学校の校歌を演奏して迎えたりするなどの数々の工夫をしました。それらのたゆまぬ工夫が積み重なり、宮崎県は全国的に有名な新婚旅行のメッカとして「日本のハワイ」と呼ばれ、一大ブームを起こしました。

岩切の「心配するな、工夫せよ」という言葉は、くよくよしていても事態は好転しない、前向きに、できることを考えて行動しようということです。皆さんもきっとこれからの人生で、いろいろな困難に直面して、心配をすることが多くあると思います。しかし、皆さんの修学旅行のように、不安や心配に負けずに、前向きに取り組んでいれば、いつか願いは実るものです。ぜひ、この「心配するな、工夫せよ」という言葉を胸に、これらの人生、高校生活を強い心、へこたれない心をもって立ち向かっていってほしいと思います。

結びに、この3年間立派に成長することができたことは、保護者の方々をはじめ、お世話になった先生方など、多くの人に支えられた3年間であったと思います。感謝の気持ちをもって、卒業を迎えていただきたいと思います。

皆さんには、この附属札幌中学校での思い出を胸に、いつも健やかに、強く生きていってほしいと思います。皆さんの前途が明るいものとなるように、心から祈り、式辞といたします。

■卒業記念品が贈呈されました。

第73期生の皆さんから卒業記念品として、卒業式の紫白幕と日誌ファイル入れが贈呈されました。今後大切に使用させていただきます。また、PTAからは印鑑が卒業生に贈られましたので、紙面を借りて紹介させていただきます。卒業生の皆さん、PTAの皆様、ありがとうございました。



【卒業式の紫白幕】



【日誌ファイル入れ】



【印鑑】

【保護者の皆様へ】

保護者の皆様におかれましては、これまでの3年間、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございました。お陰様で、本日の卒業証書授与式では、学校長より一人一人に卒業証書をお渡しすることができました。今後の、お子様の更なる成長を楽しみにしております。お子様のご卒業、本当におめでとうございます。